

ほりけん通信

8月号

発行人：株保利建設社
糸島市東1437-2
TEL 092-322-4779
FAX 092-322-4799
編集長：保利千晴

社長コラム



皆さまこんにちは。暑く乾いた日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。一部では夕立で雨が降ったりもしているようですが、糸島や福岡市では梅雨が明けてからほとんど雨が降っていません。うちの庭もカラカラで木の葉も落ちるほどです。

毎年庭の水やりは時々してありますが、こう晴れてばかりで雨が降らないと庭や畑の水やりが大変です。前々から買おうかどうしようか迷っていた「水やりホース」というホースに小さな穴が無数に開いたものを遂に今年は買ってしまいました。これを庭に張り巡らせるとあとは、蛇口をひねるだけで庭に水やりができるという単純ながらもなかなか便利なものです。今年の夏はこれで少し楽ができそうです。

熱いと言ったらリオデジャネイロ・オリンピックの方もそうですよね。普段から朝早く起きる私は、朝テレビをつけるとちょうど競技があって見ることができます。今回のオリンピックはすでに柔道などの競技でメダルをいくつも獲得しています。



普段はスポーツ観戦に行ったりテレビでスポーツを見たりとかはあまりしませんが、さすがに四年に一度のオリンピックとなるとそうはいきません。

「にあかファン」となって毎日テレビ観戦で応援しています。今後の競技にも注目です。

これからも熱く、暑い日々が続くと思いますが、熱中症などに注意して無理をなさらずどうかお体に気をつけてお過ごしください。



代表取締役 保利重勝



残暑お見舞い
申し上げます

ほりけんの 男子クッキング

そうめんの フォー風



材料 (3人前)

- ◎ そうめん : 3人分
- ◎ 鶏胸肉 : 200g
- ◎ レモン : 1/2
- ◎ 刻みねぎ : 適量

(スープ調味料)

- ◎ 中華調味料 (ウェイパー) : 小さじ2
- ◎ 日本酒 : 大さじ2
- ◎ 生姜汁 : 小さじ2
- ◎ 水 : 800cc
- ◎ 塩・こしょう : 適量



作り方

- ① 鶏肉を食べやすい大きさに切りそろえます。
- ② スープ調味料 (塩・こしょう以外) を鍋に入れ、ひと煮立ちさせ鶏肉を入れて「あく」を取りながら火が通るまで煮込みます。
- ③ レモン1/2を絞り酸味を加え、最後に塩・こしょうで味を調えます。
- ④ そうめんを規定の時間で茹で、スープを合わせて刻みネギを散らして完成!

お好みでナンブラーやパクチーを使ったら、更に本格的になります。以前、ベトナムのホーチミンで食べたフォーを思い出しながら作りました。ぜひ、お試しください。



編集後記

こんにちは。

毎日本当に暑い日が続いておりますが、皆さまお変わりございませんか? 今年は猛暑のせいか、夏休みなのに日中外で遊んでいる子どもたちをあまり見かけません。昔は「熱中症」なんて言葉を聞いたこともなかったですが、なかなか「外で遊んでおいで～」と言えなくなりましたね。でもこの夏休みシーズンは、日頃忙しくて子ども達となかなか一緒に居られない社長が、頑張っているのを連れて行ってくれるのが、子どもたちは毎年とても楽しみにしているようです。今年も芥屋の花火へ浴衣を着て出かけて行きました。いい夏の思い出がひとつできましたようです。



編集長: 保利子晴

漫画で ほっとひと息

「同系色」

絵: 編集長

毎日、現場に出ている「父」
毎日、学校のプールに入る「娘」



肌の色がほぼ…床と同系色になっています。
我が家の夏の光景となりました(笑)
毎日お疲れ様~!!

株式会社 保利建設社

〒819-1122 福岡県糸島市東1437-2

TEL (092) 322-4779 Email: info@horikenhome.jp

FAX (092) 322-4799 URL : http://horikenhome.jp/

幻の漆喰

音響無垢木材

漆喰



QRコード



糸島の空気がうまい家

検索

雨漏りによる「床の腐食」「クロスのカビ」「窓の結露」、それに部屋の中で楽器を使った際の「近隣への音の問題」でした。この問題を解決すべく改修工事をさせていただきました。

ほいけんの家づくり ～保育園編～

今回は保育園の園児室の改修工事です。



保育園のお悩み・・・

お悩み①「床の腐食・カビ・結露」

天井から少しずつ永い間漏れていた雨水が、部屋の隅の壁を伝ってピアノの陰の床に落ちていて、気が付いた頃には腐って穴が開いていました。壁のクロスはコンクリートに直接張った「直張り」でしたので、湿気の影響からか、ところどころ剥がれたり、カビが目立つようになっていました。



着工前



お悩み②「音」

窓の向こうには民家が隣接していて、園児たちが楽器の練習をする時などには音が外に漏れていて近隣に迷惑がかかるのではないかと心配していらっしゃいました。

断熱工事

床の下地の「大引き」と呼ばれる木の間に断熱材を受ける専用のシートを張っていきます。このシートが断熱材の重みで下がらないように、1mおきにシートの下に木の板を打っていきます。



米国の新聞紙を主原料としている「アップルゲートセルローズ」の断熱材吹き込みの様子です。専用の機械を使って、床・壁・天井へびっしり吹き付けていきます。



断熱材を壁に吹き付けている様子です。床・壁・天井を隙間なく断熱材を充填することで断熱性はもちろんのこと、吸音性に優れた性能を発揮し、外からの騒音も遮り室内からの音も外へ漏らしません。

仕上げ工事

腰壁にも浮造りの羽目板を張っていきます。工事中、杉板を張っていると杉の良い香りがしていました。上の方の壁は普通だとビニールクロスを張るところですが「空気の家」では「幻の漆喰」を塗ります。



左官さんによる、幻の漆喰塗りです。長年の職人さんの経験で、木ごとで表面をざらっと仕上げることで、細かい凹凸が出来て表面性が増えることで「幻の漆喰」の効果がより発揮しやすくなります。



完成

「空気がうまい園児室」の完成です



木をふんだんに使ったこの部屋はドアを開けた瞬間から杉の木のいい香りがします。

以前にも紹介しましたが、杉には人の免疫力を高める成分も含まれ、また杉の香りに含まれる「セドロール」により心身をリラックスさせます。

この部屋で過ごす子どもたちはますます健康で、お昼寝もよく眠れることでしょう。



床・壁・天井の裏には、びっしりと隙間なく詰められたセルローズ断熱材そして窓にはペアガラスのサッシ。これからは、音を気にせず楽器の練習ができます。天井の照明はシーンに合わせて光の調節ができるようになっています。お絵かきをするときは明るく、お昼寝の時は薄暗くお好みの明るさでお使い頂けます。



床



浮造り加工された38mmの「音響熟成木材フローア」です。表面塗装がされていないので夏でもべたつかず表面の凹凸が、足の裏で気持ち良く感じられます。

収納



収納される物にあわせてオーダーできる家具です。今回は保育園で使う楽器と画用紙に合わせてサイズを決めて造りました。

壁



上の方の壁は「幻の漆喰」で仕上げました。湿気を取り、嫌なニオイを消すほか、化学物質を吸着分解する作用もあります。

先生方からの声



新しいお部屋は入った時に「木の香り」がするし、床は「はだし」になっている方が気持ちよく、毎日子ども達と一緒に快適にすごしています。子どもたちも汚れたりしないように心がけて大切に使っています。

湿気やニオイ、化学物質を取り除いて木の成分で免疫力とリラックス効果を高める「健康な園児室」になりました。「床にこぼしたらすぐ拭く」という気持ちが園児達に出て良いですと、先生方がおっしゃっていました。

これからも大切に、そして快適にお過ごしくだけさいね。

